

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートりま			
○保護者評価実施期間	2025 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 4 月 25 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 4 月 25 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 4 月 29 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	保護者とのコミュニケーションが円滑に進み支援に反映できるよう、送迎時の申し送り、連絡帳の活用 の他、電話やメールで気軽に連絡が取れるようにしています。	LINEやWEB連絡帳を取り入れこどもの様子をより詳細に伝える、保護者からの要望等をより早期に対応、職員間での共有をより早くしていくことを検討しています。
2	こどもは通所を楽しみにしている。	施設、職員に慣れ楽しい場として通所できるよう、活動内容に考慮しています。障害児施設で勤務経験が豊富な職員と医療的ケア児の対応をする看護職員が連携し活動を行っています。	成長に見合った経験を積み重ねることができるよう、保育士、リハビリ職員を増員し楽しく成長できる支援を行っています。
3	事業所の支援に満足している。	保護者のニーズを中心とし他施設、相談事業所との連携を図り統一性のある支援を提供することでこどもが混乱することなく過ごせるようにしています。	今後も継続し本人、家族が安心して過ごせる事業所を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	当施設は安定した運営を図るために整備している途中段階であるために、現時点では保護者会等の支援を検討、実行できていません。	今年度中に準備を開始し、実行可能である形式で設けていきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	医療的ケア児、重症心身障害児では感染症に特に注意する必要があるため、交流方法や保護者の意向確認が必要であるため実施していません。	保護者の意向を中心に、屋外でのイベント、少人数制の園等、こどもの成長に必要と考えられる活動を検討していきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	以前より利用保護者へ「りま通信」を定期的に配布していましたが、4月からInstagramを開始しました。開始す旨は書面にて保護者へ周知しています。	Instagramについて、更新頻度、内容に関するご意見、ご要望を聴取しより良いものにしていきます。今年度より自己評価結果の好評を確実に実施し支援に反映できるよう努力してまいります。